

工事番号																(様式－１)		
管理者		局長		課長		係長		精算者		設計者								
令和 7 年度 有賀配水池 導水管布設替工事																	実施設計書	
諏訪市 豊田有賀 地内																		
設 計 大 要									施 工 方 法				請 負					
ポリエチレン二層管 (PEW) φ50 L= 445.5m									施 工 期 間				日間					
									起工予定年月日				令和 年 月 日					
									竣工予定年月日				令和 年 月 日					
									契約保証方法				金銭的保証					
									・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合があります。									

総括情報表

頁0-0002

単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	42 3 諏訪 07.07.31		
	当 世 代		前 世 代
前払率 (%) 消費税率 (%) 工種区分 施工地域等区分 現場環境改善費 契約保証方法 豪雪割増 冬期補正 (現管) 週休 2 日補正	40 10 % 01 開削工事／小口径推進工事 05 補正なし 00 計上なし 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し 224 07 月単位		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象となりませんのでご理解願います。 冬期補正 (現管) 欄の記載例 : 124 は 冬期率12%、4級地 を示します。		

(工事費内訳書)

* 本工事費 * 内訳表

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
材料費						
ポリエチレン二層管						
	1		式			工種 第0001号表
その他						
	1		式			工種 第0002号表
管布設工						
ポリエチレン二層管						
	1		式			工種 第0003号表
その他						
	1		式			工種 第0004号表
本管土工						
本管土工			式			
	1		式			工種 第0005号表

(工事費内訳書)

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
共通仮設費率計算額(千円単位)						
共通仮設費計						
純工事費						
**現場管理 費(千円単位)						
工事原価						
一般管理 費等						
工事価格計						
消費税等 相当額計						

(工事費内訳書)

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事費計											
(参考) 予定 価格に占める											

工 種 明 細 表

工種 第0001号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 2層管(1種) φ50					
水道単価	440	m			
ゲートバルブ φ50 給水用青銅バルブ 10Kねじ込み					
水道単価	4	ヶ			
鋼管用おねじ付ソケット φ50 水道ポリエチレン管金属継手					
水道単価	11	ヶ			
水道用ポリエチレン二層管:エルボ (PE-45L) (テーパージョイント) φ50×45°					
水道単価	3	個			
ソケット φ50 水道ポリエチレン管金属継手					
水道単価	9	ヶ			
チーズ φ50 水道ポリエチレン管金属継手					
水道単価	2	ヶ			
砲金チーズ φ50					
水道単価	1	個			
砲金六角ニップル(Ni) φ50					
水道単価	1	個			
フランジ(穴数4本)コト φ50A 上水7.5K					
水道単価	1	枚			

工 種 明 細 表

工種 第0001号表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライトカバー 50A 10mm厚ワタツチLTSG 水道単価					
	446	m			
*** 単位当り ***					
	1	式			

その他

工 種 明 細 表

工種 第0002号表

頁0-0008

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筐(諏訪市丸型鉄蓋)500型 【空気弁用】 水道単価					
	1	台			
鉄筐・弁ボックス 制水弁・制湯弁(350型) 水道単価					
	4	セット			
表示テープ 配水管用 50mm×20m 水道単価					
	32	巻			
埋設標識シート W=150mm 折りたたみ(諏訪市ネム入) 水道単価					
	446	m			
管台 松or唐松 5*10*30cm 水道単価					
	220	本			
マーカ 水道単価					
	12	本			
ゴムパッキン 7.5K φ50 フランジ用(全面)RF 水道単価					
	1	枚			
ゴムパッキン 7.5K φ75 GF 水道単価					
	1	枚			
六角ボルト・ナット 管径50mm 樹脂塗装【FSA】 M16mm×65mm 水道単価					
	4	本			

諏 訪 市

その他

工 種 明 細 表

工種 第0002号表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
六角ボルト・ナット 管径75～150mm 樹脂塗装【FSA】 M16mm×75mm 水道単価					
	4	本			
*** 単位当り ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

工種 第0003号表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管据付工 φ 5 0 mm					
2-6-1	446	m			施工 第0 -0001号表
ポリエチレン管継手工 φ 5 0 mm					
2-6-1	41	口			施工 第0 -0002号表
小口径鋼管継手工（ねじ込み接合） φ 5 0 mm					
2-4-1	13	口			施工 第0 -0003号表
水道用ポリ管保護カバー設置（φ 50mm） φ 50mm					
	446	m			施工 第0 -0004号表
ポリエチレン管切断工 管径：φ 5 0 mm					
	15	口			施工 第0 -0005号表
鋳鉄管切断工 φ 7 5 mm エンジンカッター使用 2-8-1、2-10-2	1	口			施工 第0 -0006号表
メカニカル継手接合・撤去工 φ 7 5 mm以下 K形 2-3-3、2-10-3	1	口			施工 第0 -0007号表
*** 単位当り ***					
	1	式			

その他

工 種 明 細 表

工種 第0004号表

頁0-0011

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄蓋・レゾコンボックス設置(φ500) 円形 消火栓用 径500mm	1	基			施工 第0 -0008号表
鉄蓋・レゾコンボックス設置(φ350) 円形 仕切弁用 径350mm	4	基			施工 第0 -0009号表
フランジ継手工 φ65mm以下 7.5K 2-3-5、2-10-3	1	口			施工 第0 -0010号表
フランジ継手工 φ75(80)mm 7.5K 2-3-5、2-10-3	1	口			施工 第0 -0011号表
空気弁及び空気弁座設置工 機械施工 φ75mm 2-9-2	1	基			施工 第0 -0012号表
管明示シート工(手間のみ) 2-3-14	446	m			施工 第0 -0014号表
管明示テープ工(手間のみ) ポリエチレン管, φ50mm 胴巻箇所数: 5mにつき4 天端明示: 有 2-3-13	446	m			施工 第0 -0015号表
ロケーティングワイヤー設置 446	446	m			施工 第0 -0016号表
既設管接合工 0.50日 1	1	式			施工 第0 -0017号表

その他

工 種 明 細 表

工種 第0004号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
洗管・通水試験工 0.30日					施工 第0 -0018号表
	1	式			
*** 単位当り ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

工種 第0005号表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	453	m			施工 第0 -0020号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	134	m 2			施工 第0 -0021号表
床掘り 土砂 現場制約あり	77	m 3			施工 第0 -0022号表
管路埋戻工 クローラ型・標準 山積み0. 2 8 m 3 コンクリート砕砂 1-1-2	13	m 3			施工 第0 -0023号表
管路埋戻工 クローラ型・標準 山積み0. 2 8 m 3 発生土 1-1-2	57	m 3			施工 第0 -0026号表
発生土運搬費 BH 山積み0. 28m3（平積み0. 2m3）、2 t DT 運搬距離：9. 5 km D I D地区無し	13	m 3			施工 第0 -0028号表
アスファルト塊運搬 BH 山積み0. 28m3（平積み0. 2m3）、2 t DT 運搬距離：9. 5 km D I D地区無し	3. 4	m 3			施工 第0 -0030号表
不陸整正工（管路土工） 1. 8m未満，材料計上なし	134	m 2			施工 第0 -0031号表
路盤工（管路土工） 1層仕上げ 1. 8m未満，再生クラッシャーラン RC-40 全仕上り厚：1 0 c m	68	m 2			施工 第0 -0033号表

工 種 明 細 表

工種 第0005号表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層工 再生 密粒度（20F） 車道 1層当り仕上厚5cm	68	m ²			施工 第0-0034号表
水替工（潜水ポンプ運転） φ50mm0.4Kw		日			施工 第0-0037号表
処分費等					
発生土処分	13	m ³			
処分費 As殻	3.4	m ³			施工 第0-0038号表
*** 単位当り ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0015

ポリエチレン管据付工

施工 第0 -0001号表

φ 5 0 mm

2-6-1

10

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0016

ポリエチレン管継手工

施工 第0 -0002号表

φ 5 0 mm

2-6-1

1

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0017

小口径鋼管継手工（ねじ込み接合）

施工 第0 -0003号表

φ 5 0 mm

2-4-1

2

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の3.0%
*** 合 計 ***	2	口			
*** 単位当り ***	1	口			

施工内訳表

頁0-0018

水道用ポリ管保護カバー設置(φ50mm)

施工 第0 -0004号表

10 m 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0019

ポリエチレン管切断工

施工 第0 -0005号表

管径：φ 5 0 mm

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0020

鋳鉄管切断工

施工 第0 -0006号表

φ 7 5 mm

エンジンカッター使用

2-8-1、2-10-2

1

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
機械損料 エンジンカッター		日			エンジンカッター損料
諸雑費		%			労務費の30.0%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0021

メカニカル継手接合・撤去工

施工 第0 -0007号表

φ 7.5mm以下

K形

2-3-3、2-10-3

1

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0022

鉄蓋・レジコンボックス設置(φ500)

施工 第0 -0008号表

円形

消火栓用 径500mm

1

基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
*** 単位当り ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0023

鉄蓋・レジコンボックス設置(φ350)
円形

施工 第0 -0009号表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
*** 単位当り ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0024

フランジ継手工

施工 第0 -0010号表

φ 6 5mm以下

7. 5 K

2-3-5、2-10-3

1

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0025

フランジ継手工

φ 7 5 (8 0) mm

7 . 5 K

2-3-5、2-10-3

施工 第0 -0011号表

1

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			労務費の1.0%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0026

空気弁及び空気弁座設置工

機械施工 φ 7 5 mm

施工 第0 -0012号表

2-9-2

1

基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
トラック運転 (機-1) クレーン装置付 4～4.5 t 積 2.9 t 吊	0.400	時間			施工 第0-0013号表
諸雑費		%			労務費の1.0%
*** 単位当り ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0027

トラック運転 (機-1)

施工 第0 -0013号表

クレーン装置付 4～4.5 t積 2.9 t吊

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック [クレーン装置付] 4～4.5 t積 2.9 t吊	1.000	時間			
運転手 (特殊)		人			
軽油 小型ローリー パトロール給油		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			

管明示シート工（手間のみ）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0014号表

頁0-0028

2-3-14

100

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施工内訳表

頁0-0029

管明示テープ工（手間のみ）

ポリエチレン管, $\phi 50 \text{ mm}$

胴巻箇所数：5 mにつき 4

天端明示：有 2-3-13

施工 第0 -0015号表

100

m

当り

[illegible]

ロケーティングワイヤー設置

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0016号表

頁0-0030

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ロケーティングワイヤー	110.000	m			水道単価
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り ***	1	m			

0.50 日

施工内訳表

施工 第0 -0017号表

頁0-0031

1 式 当り

[illegible]

市 訪 諏

施 工 内 訳 表

頁0-0032

洗管・通水試験工
0.30日

施工 第0 -0018号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 給水車不要		日			施工 第0-0019号表
*** 単位当り ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0033

通水試験工
給水車不要

施工 第0 -0019号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
器具損料及び諸雑費		%			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0034

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比： 15cm以下

材料構成比：

市場単価構成比：

施工 第0 -0020号表

標準単価： 1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音 切削深20cm級 B径56cm		供用日		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		
特殊作業員		人		特殊作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
普通作業員		人		普通作業員		
ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)		枚		ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)		
ガソリン レギュラー スタンド		L		ガソリン レギュラー スタンド		

施 工 内 訳 表

頁0-0035

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

15cm以下
労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

施工 第0 -0020号表

1 m 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				アスファルト舗装版厚：15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0036

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

障害等なし

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

1 m 2 当り

施工 第0 -0021号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ・後方超小旋回〕賃料 ～超低・～排ガス3次 山積0. 4 5 m 3		日		バックホウ〔クローラ・後方超小旋回〕賃料		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
運転手（特殊）		人		運転手（特殊）		
普通作業員		人		普通作業員		
軽油 小型ローリー パトロール給油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0037

施工 第0 -0021号表

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

障害等なし

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

1

m 2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 騒音振動対策：騒音振動対策不要 積込作業の有無：積込作業あり				障害等の有無：障害等なし 舗装版厚：15cm以下 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0038

床掘り
土砂
機械構成比：
現場制約あり

労務構成比：
材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1
m 3 当り

施工 第0 -0022号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員		人		普通作業員		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				施工方法：現場制約あり		

施 工 内 訳 表

頁0-0039

管路埋戻工

施工 第0 -0023号表

クローラ型・標準 山積み0. 2 8 m 3

コンクリート砕砂

1-1-2

100

m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 (機-1) クローラ型・標準 山積0. 2 8 m 3 排出ガス対策型1次基準	5.6	時間			施工 第0-0024号表
タンパ及びランマ運転 (機-31) 質量60～80kg		日			施工 第0-0025号表
コンクリート用砕砂	133	m 3			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

施 工 内 訳 表

頁0-0040

バックホウ運転 (機-1)

クローラ型・標準 山積0.28m³

排出ガス対策型1次基準

施工 第0-0024号表

1

時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス1次 山積0.28m ³	1.000	時間			
運転手 (特殊)		人			
軽油 小型ローリー パトロール給油		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			

施 工 内 訳 表

頁0-0041

タンパ及びランマ運転 (機-31)

施工 第0 -0025号表

質量60～80kg

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タンパ (ランマ) 賃料 質量60～80kg		供用日			
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー スタンド		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0042

管路埋戻工

施工 第0 -0026号表

クローラ型・標準 山積0. 2 8 m 3

発生土

1-1-2

100

m 3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 (機-1) クローラ型・標準 山積0. 2 8 m 3 排出ガス対策型2次基準	7.600	時間			施工 第0-0027号表
タンパ及びランマ運転 (機-31) 質量60～80kg		日			施工 第0-0025号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

施 工 内 訳 表

頁0-0043

バックホウ運転 (機-1)

クローラ型・標準 山積0.28m³

排出ガス対策型2次基準

施工 第0-0027号表

1

時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次 山積0.28m ³	1.000	時間			
運転手 (特殊)		人			
軽油 小型ローリー パトロール給油		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			

施工内訳表

頁0-0044

発生土運搬費

BH 山積0.28m3 (平積0.2m3)、2 t DT

運搬距離：9.5 km DID地区無し

施工 第0 -0028号表

10 m 3 当り

[illegible]

市 訪 諏

施 工 内 訳 表

頁0-0045

ダンプトラック運転

施工 第0 -0029号表

普通・ディーゼル 2 t 積級

運搬路面状況 良好

1-1-3

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手（一般）		人			
軽油 小型ローリー パトロール給油		L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t 良好		供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0046

アスファルト塊運搬

施工 第0 -0030号表

BH 山積0.28m3 (平積0.2m3) 、2 t DT

運搬距離：9. 5 km D I D地区無し

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 普通・ディーゼル 2 t 積級 運搬路面状況 良好		日			施工 第0-0029号表
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

施 工 内 訳 表

頁0-0047

不陸整正工（管路土工）

施工 第0 -0031号表

1.8m未満，材料計上なし

100 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
タンパ及びランマ運転 （機－31） 質量60～80kg		日			施工 第0-0032号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			

施 工 内 訳 表

頁0-0048

タンパ及びランマ運転 (機-31)

施工 第0 -0032号表

質量60～80kg

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タンパ (ランマ) 賃料 質量60～80kg		供用日			
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー スタンド		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0049

路盤工（管路土工） 1層仕上げ

施工 第0 -0033号表

1.8m未満、再生クラッシャーラン RC-40

全仕上り厚：1 0 c m

100

m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	12.700	m 3			
タンパ及びランマ運転 （機－ 3 1 ） 質量 6 0 ～ 8 0 k g		日			施工 第0-0032号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			

施 工 内 訳 表

頁0-0050

表層工 再生 密粒度（20F） 車道 1層当り仕上厚5cm						100	m ²	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
土木一般世話役		人						
特殊作業員		人						
普通作業員		人						
⑤再生アスファルト混合物 密粒度（20F）〔再生材 混入率50%以下〕	12.573	t						
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		L						
振動ローラ運転（機-23） 舗装用・ハンドガイド 0.5～0.6t 普通型		日			施工 第0-0035号表			
振動コンパクタ運転（機-23） 前進型 機械質量40～60kg		日			施工 第0-0036号表			
諸雑費		%						
					(労+機)×率			
*** 合 計 ***	100	m ²						
*** 単位当り ***	1	m ²						

施 工 内 訳 表

頁0-0051

振動ローラ運転 (機-23)

舗装用・ハンドガイド 0.5～0.6t 普通型

施工 第0-0035号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t		供用日			
特殊作業員		人			
軽油 小型ローリー パトロール給油		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0052

振動コンパクタ運転 (機-23)

施工 第0 -0036号表

前進型 機械質量40～60kg

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg		供用日			
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー スタンド		L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0053

水替工（潜水ポンプ運転）

施工 第0 -0037号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
潜水ポンプ損料（φ 5 0 mm0. 4 K w）		日			
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3 k V A		日			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0054

処分費

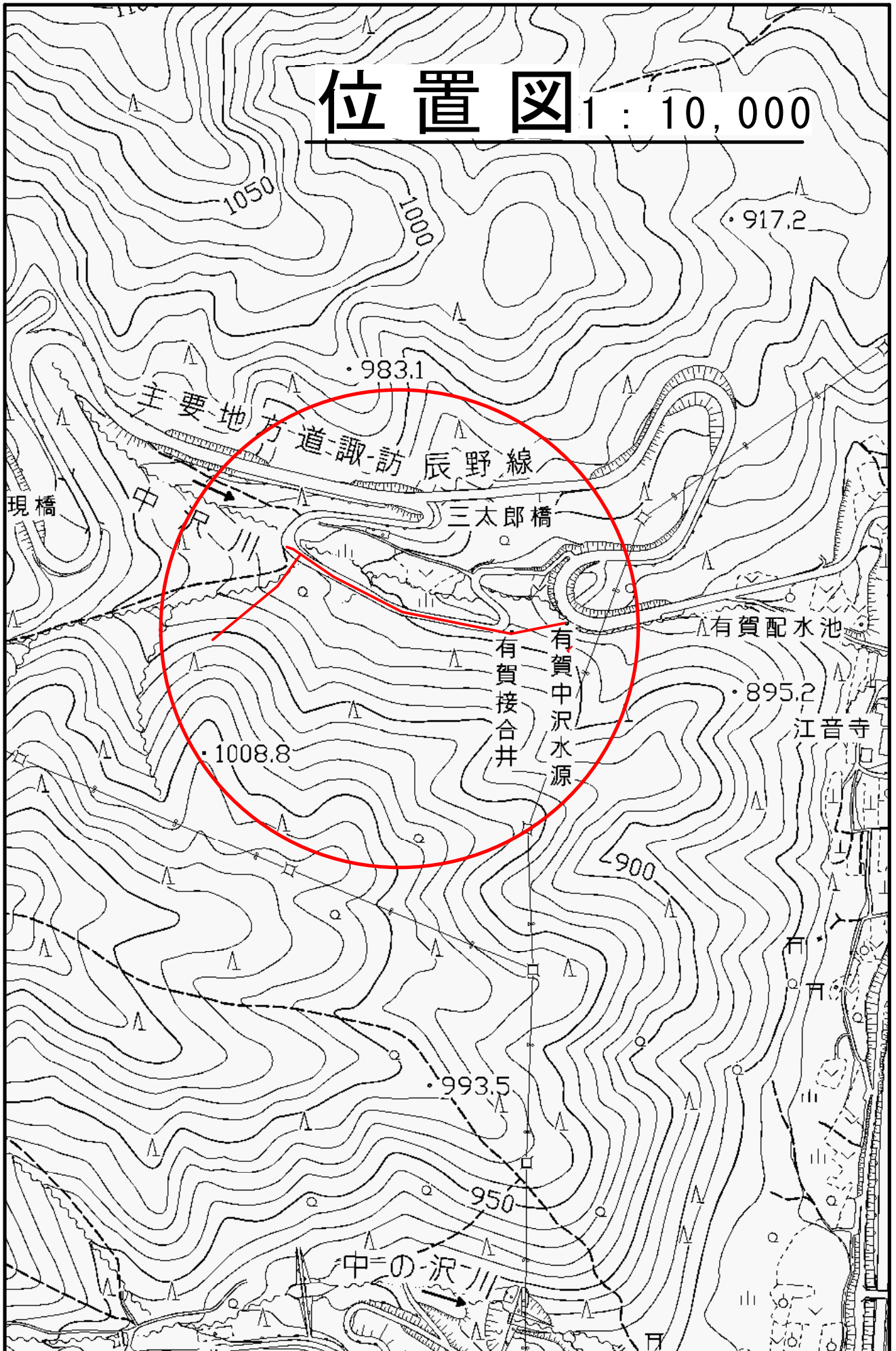
施工 第0 -0038号表

As殻

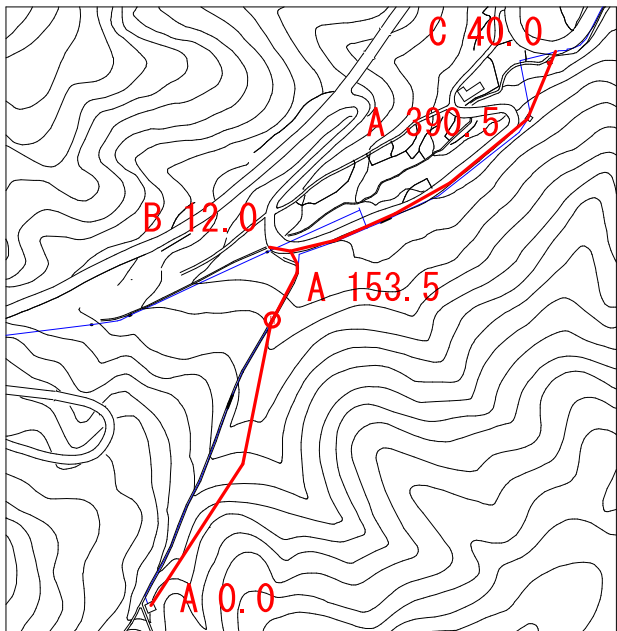
100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	m 3			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

位置図 1 : 10,000

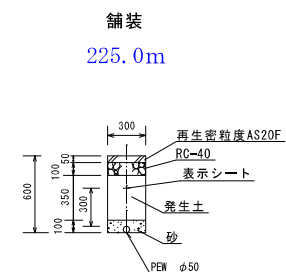
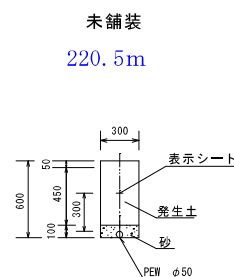


平面図 $S = \text{Free}$

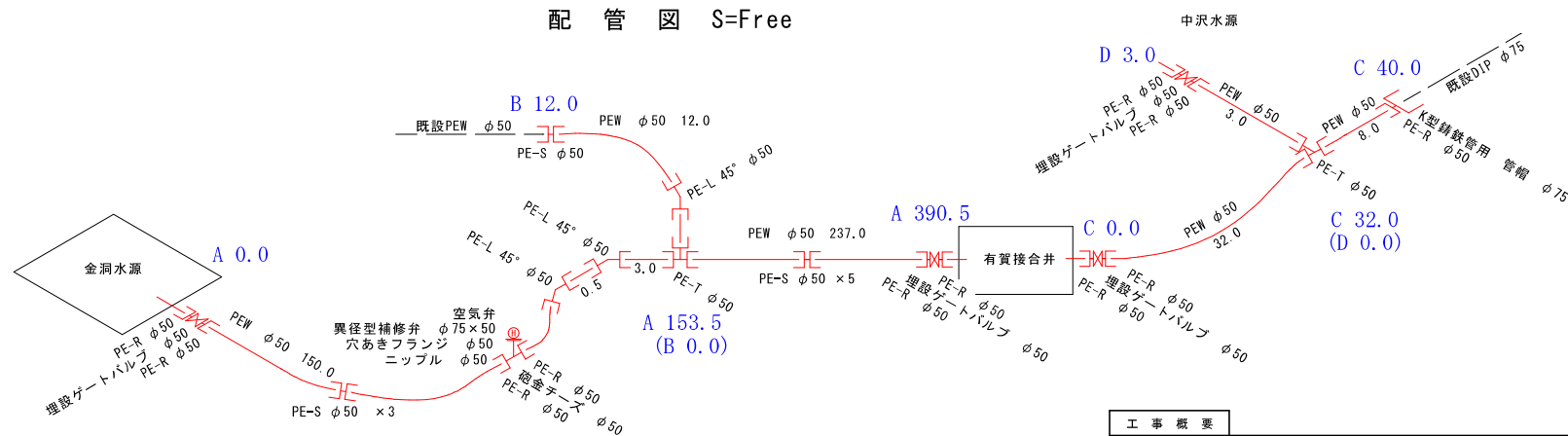


赤：新設
青：既設

標準掘削断面図 S=1 : 20



配管図 S=Free



※空気弁、異径型補修弁、K型管帽φ75は材料支給。
※PEWφ50 440m購入。不足分は材料支給。

工 事 概 要

水道用ポリエチレン二層管 (PEW) $\phi 50$ L=445.5m

令和7年度 有賀水庭 導水管布設設計工事					
全 図			縮尺		図号
諏訪市 豊田有賀 地内					
課長		金子	係長		乙黒
照 査	乙黒	設計	保坂	製図	保
	図面番号 1 葉中之 1				
諏訪市水道局施設課					

土 工 事 計 算 書					【当初】
略	図	区 別	計 算 式	数 量	単 位
		舗装切断t=15cm以下	0+452.6	452.6	m
		As舗装版破碎工t=10cm以下	66.5+67.8	134.3	m ²
		Co舗装版破碎工t=15cm	+		m ²
		人力 掘削	39.9+37.3	77.2	m ²
		人力 床掘	0+0		m ³
		人力 床均し	+		m ³
		埋戻工・砂	6.4+6.5	12.9	m ²
		埋戻工・発生土	33.2+23.7	56.9	m ³
		埋戻工・発生土	+		m ³
		残土処理	39.9+37.3	77.2	m ³
		産業廃棄物処理(AS塊)	0+3.4	3.4	m ³
		産業廃棄物処理(CO塊)	0+0		m ³
		不陸整正工	66.5+67.8	134.3	m ³
		上層路盤工t= 10.0cm	0+67.8	67.8	m ²
		上層路盤工t= cm	+		m ²
		基層工t=5cm人力施工	+		m ²
		表層工t=5cm人力施工	0+67.8	67.8	m ²
		表層工t=4cm人力施工	+		m ²
		表層工t=3cm人力施工	+		m ²
		仮復旧=3cm人力施工	+		m ²

土 工 事 計 算 書										【当初】																					
略			図		区 別		計 算		式 数		量 単 位																				
側点 Pt. 未舗装 ~ Pt. 220.5 0.6 0.5 0.1 0.30 0.30 発生土 砂					舗装切断t=15cm以下		(220.5+1×1)×0+0.3×0			m																					
					As舗装版破碎工t=10cm以下		(220.5+1×1)×0.3		66.5	m ²																					
					Co舗装版破碎工t=15cm					m ²																					
					人力 掘削		(220.5+1×1)×0.3×0.6		39.9	m ³																					
					人力 床掘					m ³																					
					人力 床均し					m ²																					
					埋戻工・砂		(220.5+1×1)×(0.3×0.1-0.02×0.02×π)		6.4	m ³																					
					埋戻工・発生土		(220.5+1×1)×0.3×0.5		33.2	m ³																					
					埋戻工・発生土					m ³																					
					残土処理		(220.5+1×1)×0.3×0.6		39.9	m ³																					
					産業廃棄物処理(AS塊)		(220.5+1×1)×0.3×0			m ³																					
					産業廃棄物処理(CO塊)					m ³																					
					不陸整正工		(220.5+1×1)×0.3		66.5	m ²																					
					上層路盤工t= 10.0cm					m ²																					
<table><tr><td>管の種別</td><td colspan="2">PE φ 50</td></tr><tr><td>交通の種別</td><td colspan="2">歩道</td></tr><tr><td>土被り(管上)</td><td colspan="2">0.50m以上</td></tr><tr><td>余堀</td><td>1.00m</td><td>1.0箇所</td></tr><tr><td>AS切断</td><td>縦断切断本数</td><td>横断切断箇所</td></tr><tr><td>既設舗装版厚</td><td>アスファルト</td><td>コンクリート</td></tr><tr><td>仮舗装</td><td>なし</td><td></td></tr></table>					管の種別	PE φ 50		交通の種別	歩道		土被り(管上)	0.50m以上		余堀	1.00m	1.0箇所	AS切断	縦断切断本数	横断切断箇所	既設舗装版厚	アスファルト	コンクリート	仮舗装	なし		上層路盤工t= cm					m ²
					管の種別	PE φ 50																									
					交通の種別	歩道																									
					土被り(管上)	0.50m以上																									
					余堀	1.00m	1.0箇所																								
					AS切断	縦断切断本数	横断切断箇所																								
					既設舗装版厚	アスファルト	コンクリート																								
仮舗装	なし																														
基層工t=5cm人力施工					m ²																										
表層工t=5cm人力施工					m ²																										
表層工t=4cm人力施工					m ²																										
表層工t=3cm人力施工					m ²																										
仮復旧=3cm人力施工					m ²																										

土 工 事 計 算 書 (本設)							【当初】																				
略 図			区 別		計 算 式		数 量	単 位																			
舗装 側点 Pt. ~ Pt. 225.0 0.30 0.30 0.05 0.10 0.35 0.1 再生密粒度As20F 上層路盤 RC-40 発生土 砂	舗装切断t=15cm以下		(225+1×1)×2+0.3×2		452.6	m																					
	As舗装版破碎工t=10cm以下		(225+1×1)×0.3		67.8	m ²																					
	Co舗装版破碎工t=15cm					m ²																					
	人力 掘削		(225+1×1)×0.3×0.55		37.3	m ³																					
	人力 床掘					m ³																					
	人力 床均し					m ²																					
	埋戻工・砂		(225+1×1)×(0.3×0.1-0.02×0.02×π)		6.5	m ³																					
	埋戻工・発生土		(225+1×1)×0.3×0.35		23.7	m ³																					
	埋戻工・発生土					m ³																					
	残土処理		(225+1×1)×0.3×0.55		37.3	m ³																					
	産業廃棄物処理(AS塊)		(225+1×1)×0.3×0.05		3.4	m ³																					
	産業廃棄物処理(CO塊)					m ³																					
	不陸整正工		(225+1×1)×0.3		67.8	m ²																					
	上層路盤工t= 10.0cm		(225+1×1)×0.3		67.8	m ²																					
	上層路盤工t= cm					m ²																					
基層工t=5cm人力施工					m ²																						
表層工t=5cm人力施工		(225+1×1)×0.3		67.8	m ²																						
表層工t=4cm人力施工					m ²																						
表層工t=3cm人力施工					m ²																						
仮復旧=3cm人力施工					m ²																						
<table><tr><td>管の種別</td><td colspan="2">PE φ50</td></tr><tr><td>交通の種別</td><td colspan="2">歩道</td></tr><tr><td>土被り(管上)</td><td colspan="2">0.50m以上</td></tr><tr><td>余堀</td><td>1.00m</td><td>1.0箇所</td></tr><tr><td>AS切断</td><td>縦断切断本数 2.0本</td><td>横断切断箇所 2.0箇所</td></tr><tr><td>既設舗装版厚</td><td>アスファルト 0.05m</td><td>コンクリート</td></tr><tr><td>仮舗装</td><td colspan="2">なし</td></tr></table>			管の種別	PE φ50		交通の種別	歩道		土被り(管上)	0.50m以上		余堀	1.00m	1.0箇所	AS切断	縦断切断本数 2.0本	横断切断箇所 2.0箇所	既設舗装版厚	アスファルト 0.05m	コンクリート	仮舗装	なし					
管の種別	PE φ50																										
交通の種別	歩道																										
土被り(管上)	0.50m以上																										
余堀	1.00m	1.0箇所																									
AS切断	縦断切断本数 2.0本	横断切断箇所 2.0箇所																									
既設舗装版厚	アスファルト 0.05m	コンクリート																									
仮舗装	なし																										

現場説明書及び特記事項（施工条件明示を含む）

諏訪市水道局

令和7年度 有賀水源 導水管布設替工事

諏訪市 豊田有賀 地内

工事の実施にあたっては、「公共建築工事標準仕様書」（以下「標準仕様書」）・「長野県土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」）・「長野県土木工事施工管理基準」（以下「施工管理基準」）・「土木工事現場必携」・「水道温泉施設工事共通仕様書」・「水道温泉工事現場代理人説明会資料」及びその他指定された図書の記載事項、かつ以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

(1) 工事概要

工事概要は設計書表紙・内訳書のとおり。

(2) 工事関連資料

本工事箇所に関連するマッピング図及び給水管引込図は閲覧が可能である。

(3) 歩掛条件

全工種について下記条件により積算を行っている。

本工事は、『水道事業実務必携 令和6年度版（全国簡易水道事業協会）』、『国土交通省 土木工事標準積算基準書 令和7年度版（建設物価調査会）』及び『建設機械等損料表 令和7年度版（日本建設機械施工協会）』を使用している。

2 工期関係

週休2日工事

本工事は発注者指定型週休2日工事の対象である。諏訪市公営企業週休2日工事実施要領に基づき取り組むものとする。また、工事契約後、週休2日対象期間において、受注者の責によらず土・日・祝日に現場作業を余儀なくされる場合は、受発注者間で協議し、別日に休日を設けるものとする。なお、発注者指定型週休2日工事のため、未達成の場合は、契約変更の対象とする。工期は契約締結の日から令和7年12月26日までとする。

「**諏訪市公営企業週休2日工事実施要領**」

https://www.city.suwa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/e707RG00001364.html

※ 工事着手日

特別の事情がない限り、契約書に定める工事開始日（契約日の翌日）から起算して30日以内に、工事に着手（実際の工事のための準備工事（現場事務所等の設置または測量をいう。））しなければならない。

※ 施工計画書提出日及び着手届提出日

工事着手前に施工計画書を提出しなければならない。

3 工事工程関係

(1) 現場の制約・条件

施工期間及び施工方法等について下記の制約・条件があるため、事前に工程の調整を行うこと。

制約事項	位置等	制約条件・内容

~~(保安林解除申請・埋蔵文化財事前調査・自然公園法施行承認申請・工事自粛期間・J R近接工事等)~~

(2) 地元・関係機関との協議

着工に当たって、下記の協議を関係機関及び地元住民と行うこと。

関係機関等	協議事項	時期
市建設課	道路掘削許可等	着工前
諏訪警察署	規制方法等	着工前
諏訪消防署	規制方法等	着手前
他埋設管業者	埋設位置確認等	着手前
バス業者	工事内容、規制方法等	着手前
地元住民	工事内容、規制方法等	着工前
地元区	工事内容、規制方法等	着工前

※なお、協議結果は施工計画書又は工事打合せ簿（様式任意）に記載し提出すること。

(3) 近接・競合工事

本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので、受注者間相互の連絡調整を密にして、その内容を監督員に報告して施工すること。

発注者	工事名	工期・工事内容等	影響箇所	備考

~~(4) 安全協議会~~

~~当該工区においては、安全協議会を設立し工事連絡調整を行っているので、これに加盟し、事業全体の進捗調整に協力すること。~~

~~(5) 部分供用~~

~~下記箇所（区間）については部分供用を予定しているので、これに合わせ工程を調整すること。~~

部分供用場所	時期	条件

4 施工計画

(1) 施工計画書

- ・共通仕様書1-1-1-6（施工計画書）に基づき、設計図書、及び現場条件等を考慮し、現場での工事等の着手前に「施工計画書」を作成し提出すること。
- ・施工計画書の作成にあたっては、「土木工事現場必携」を参考とすること。

- ・工事内容に重要な変更が生じた場合（変更内容指示時点または変更契約時点）は、「変更施工計画書」（当初施工計画書を修正）を当該工事着手前に作成し、提出すること。

（２）施工体制に関する事項

受注者は、適切な施工体制を確保し、下請負人を含む工事全体を把握して運営を行うこと。特に社会保険への加入については、建設業の人材確保において重要な事項であることを踏まえ、自社はもとより、すべての下請について加入状況の確認を行うこと。

施工体制の適正な確保に関して作成する書類は、施工計画書に添付することとするが、別途提出としても差し支えない。

【施工体制に係る工事書類等】

- ① 「施工体制台帳」、「施工体系図」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）
- ② 下請負契約書、再下請け契約書の「写」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）

注）施工体制台帳作成対象としての下請負人の判断

事 例	施工体制台帳記載の有無 下請負人に関する事項、再下請 通知書、下請契約書写、施工体 系図、下請負人通知書含む	主任（監理）技術者の配置の 有無
交通誘導警備員、ガードマン	台帳記載及び契約書写しを添付	技術者の配置不要。ただし指 定路線は資格者必要
産業廃棄物処理業者 （収集運搬業・処分業）	台帳記載及び契約書写しを添付	技術者の配置不要
ダンプ 運搬 （１人親方のダンプ 運転手）	①人事業主として建設会社と契 約した場合、台帳記載 ②建設会社に車持ちで勤務し、 建設会社と雇用関係にある場合 は台帳記載不要	技術者の配置不要
１日で完了する請負契約、 少額な作業・雑工・労務の み単価契約の請負契約	業者間の契約が建設工事である 場合は請負契約のため台帳記載	建設業の許可を必要とする場 合もしくは有する場合は技術 者の配置が必要
クレーン作業、コンクリートポンプ打 設等、日々の単価契約で行 っている場合	日々の単価契約であっても請負 契約に該当するため、台帳記載 を必要とする。	建設業の許可を必要とする場 合もしくは有する場合は技術 者の配置が必要
クレーン等の重機・ヘリコプターを機械 と一緒にリース会社から借り 上げる場合	台帳に記載する	建設業の許可を必要とする場 合もしくは有する場合は技術 者の配置が必要

５ 周辺環境保全関係

（１）環境への配慮

当工事は「~~環境配慮指針~~」の適用工事とする。

（２）大気への配慮

建設機械・設備等は、排出ガス対策型建設機械の使用を原則とする。

(3) 公道への配慮

現場から発生土等を搬出する際には、運搬車両等の付着土砂の除去及び、水切りを確実に実施してから一般道を通行すること。また、一般道が当工事による原因で破損及び汚れた場合は、受注者の責任において処理すること。

(4) 過積載の防止

- ・県が定める過積載防止対策に沿って必ず対策を行うこと。
- ・取引業者から購入する各種材料(生コン・As・骨材等)や下請業者についても、過積載防止対策の範囲とする。
- ・対策について、「施工計画書」の施工方法に具体的に記載すること。
- ・工事現場において過積載車両が確認された時は、速やかに改善を行うと共に発注者にその内容を報告すること。
- ・実施した過積載防止対策については、点検記録・写真等を整理・保管し、監督員等に求められた場合は、提示すること。また、竣工検査時には必ず提示すること。

(5) 排水への対応

本工事施工に伴う排水については、関係法令を遵守し、自然環境等へ悪影響を及ぼす事のないよう沈殿処理・PH管理等、適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにし、工事完了時には排水路等の清掃を実施すること。

(6) 第三者災害への対応

住宅近接地域での騒音・振動等及び水田や畑への排水の流出等については、公害防止対策を事前に十分検討すると共に、問題が生じた場合は速やかに対処すること。

地下掘削工事は、周囲の構造物周囲の構造物及び地表への影響が出ないように掘削量等の施工管理を適切に行い、沈下や陥没等が生じた場合は、公衆災害防止処置を直ちに講じると共に速やかに監督員に報告し、その後の対応にあたること。

6 安全対策関係

(1) 安全教育・研修・訓練

- ・工事現場では、共通仕様書 1-1-1-37 に基づき労働災害及び公衆災害防止に努めると共に、全作業員を対象に定期的に安全教育・研修及び訓練を行うこと。
- ・安全教育等は工事期間中月 1 回(半日)以上を実施し、この結果を工事日誌へ記録するほか、工事写真等に整理・保管し、監督員等に求められた場合は、提示すること。また、竣工検査時には必ず提示すること。

~~(2) 安全施設~~

~~現場出入口の管理は、伸縮ゲート等を用い施錠が可能な構造とすること。~~

(3) 交通管理

①交通誘導員

- ・本工事における交通誘導警備員の現場条件及び数量は下記のとおりである。

種類	現場条件	配置員数	施工時間	備考
交通誘導警備員 A				
交通誘導警備員 B				

- ・近接工事等で交通量が著しく増減した場合や、道路管理者・警察署等からの要請又は現場条件に著しい変更が生じた場合及び、当初設計で予定している施工方法に対して違う方法となった場合は、監督員と協議の上、変更対象とする。それ以外については、原則として設計変更の対象としない。工程遅延による増員に対しては変更対象としない。
- ・受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。
- ・国道20号においては、長野県公安委員会告示第19号（平成27年7月2日）により交通誘導警備業務を行う場所ごとに1人以上の1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員を配置して実施すること。

②交通安全施設

- ・車道部分に接し車両等が飛び込みの恐れのある場合は、ガードレール・視線誘導板・回転燈等を設置すると共に、特に夜間の安全対策に配慮すること。

③交通規制

- ・規制期間を極力短くすること。
- また、行事等の時期を把握して地元の希望に沿う規制方法をとすること。

(4) 架空線等上空施設一般

- ・工事現場における架空線等上空施設について、施工に先立ち、現地調査を実施し、種類、位置（場所、高さ等）及び管理者を確認すること。
- ・建設機械等のブーム等により接触・切断の可能性があると考えられる場合は、必要に応じて以下の保安措置を行うこと。実施内容については施工計画書に記載すること。
 - ① 架空線上空施設への防護カバーの設置。
 - ② 工事現場の出入り口等における高さ制限措置の設置
 - ③ 架空線等上空施設の位置を明示する看板等の設置
 - ④ 建設機械のブーム等の旋回・立入禁止区域等の設定
- ・前項①の設置を架空線等管理者に依頼し、事業区域外等において費用が生じる場合は、あらかじめ監督員等に現場状況等の確認を請求すること。確認の結果、必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。

7 仮設工関係

(1) 工事用道路

公道及び私道を工事用道路として使用する場合は、交通整理及び安全管理を十分に行い、事故や苦情の原因とならないようにすること。また、使用中に道路及び付属施設を破損した時は、受注者の責任において速やかに原形復旧すること。

(2) 任意仮設

次の設備について、任意仮設とする。受注者は、明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。なお、明示した条件の変更がない限り変更の対象としないものとする。

受注者に起因する工期延長等に伴う仮設材の費用は、原則として設計変更しない。

仮設物・仮設備名	設計条件	制約条件	留意事項

8 使用材料関係

(1) 材料の承認

- ・工事で使用する材料は、「材料承認願」で承認を得るが、一括承認済の資材等については承認願の提出は不要である。一括承認については発注機関がホームページ等で周知している。

(2) アスファルトコンクリート

- ・基準密度等の品質管理のために、使用前に配合報告書を提出し、確認を受けること。
- ・材料について明記のない場合は、「再生加熱アスファルト混合物の利用基準」によるものとし事前に使用材料の確認を受けなければならない。
- ・再生加熱アスファルト混合物は、舗装再生便覧の規定に適合したもので、リサイクル材配合率は、50%以下とし、含有率(%、重量比)を記載した、「再生加熱アスファルト混合物 材料承認申請 提出表」を提出すること。

(3) クラッシャーラン

- ・材料について特記のない場合は、「再生砕石等の利用基準」によるものとし、使用前に使用材料の確認を受けなければならない。
- ・路盤材に使用する再生砕石(RC-40)は、舗装再生便覧の規定に適合したもので、所要の品質を得るため必要に応じて加える補足材は、必要最小限度とし、含有率(%、重量比)を記載した「再生砕石等 材料承認申請 提出表」を使用前に提出し、確認を受けること。

(4) 砂

- ・材料について特記のない場合は、コンクリート用砕砂を使用すること。

9 発生土・廃棄物・再生資源関係

共通仕様書1-1-1-23第3項に規定される、再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理に基づき、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図ること。また、建設発生土に関しては適切に処理を行うこと。

(1) 建設副産物の処理に関する事項

- ・請負代金額500万円以上の工事について、契約締結前に建設リサイクル法第12条第1項の規定に基づき、発注者に対し説明書の提出をもって事前説明を行うこと（様式は土木工事現場必携参照）。
- ・本工事において生じる産業廃棄物等の処分は、下記の条件を想定して処分費・運搬費を計上している。
- ・建設副産物処理費は、施設毎の処理費と運搬費の合計が最も経済的な処理施設を選定している。また、受注者においても、建設リサイクル法第5条の主旨に準じ建設副産物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めること。
- ・建設資材廃棄物は、建設リサイクル法9条に則りその種類ごとに分別すること。
- ・工事に伴い生ずる廃棄物の処理については、受注者が廃棄物処理法上の排出事業者としての責任を有し、産業廃棄物の運搬・処分を他人に委託する場合には、「(5) 建設副産物の運搬・処理」によるが、当該産業廃棄物の処理の状況に関する確認及び、最終処分終了までの一連の処理行程における処理が適正に行われることを確認する措置等について、施工計画に定めること。

(2) 特定建設資材に関する事項（建設リサイクル法）

- ・受注者は発注者から「通知書」の「写」を受け取ること。

- ・受注者は下請負がある場合、下請負業者に対し、「通知書」の「写」を添付して「告知書」にて告知すること。
- ・再資源化等が完了した時は、発注者に「再資源化等報告書」にて竣工時に報告すること。

種 別		処理場名	備考
アスファルトコンクリート塊		常富興業	
セメントコンクリート塊	無筋		
	鉄筋		
	二次製品		
建設資材木材			

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

(3) 建設副産物の処理

- ・建設副産物を産業廃棄物として運搬・処分業者に委託する場合は、廃棄物処理法に基づく委託基準に従い、書面による委託契約を締結すること。
- ・廃棄物の運搬・処分を業とする「許可証」を確認し、その「写」を委託契約書に添付すること。
- ・下請負業者が産業廃棄物の運搬・処分を行う場合でも、下請負契約とは別に委託契約を締結すること。
- ・「マニフェスト（産業廃棄物管理票）」により適切に運搬・処分されているか確認を行うこと。土木工事現場必携を参照し、廃棄物種類ごとの集計表をしゅん工書類に添付すること。
- ・受注者は施工計画書に以下の事項を記載する。
 - 1) 処理方法（ 1 再資源化 2 破碎処理 3 焼却処理 4 埋立処分場 5 その他）
 - 2) 処分先（処理業者）業者名 住所
 - 3) 運搬委託先（委託の場合）業者名 住所
 - 4) その他 資源化の方法など
 （施工計画提出時に必要な書類等）
- ・処理先の許可書の写し及び収集運搬業者の許可書の写し（収集運搬を委託する場合）
- ・受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し（施工体制台帳に添付する）
- ・処理業者の所在地及び計画運搬ルート
- ・下請けがある場合は、告知書の写し

(4) 再生資源の利用促進

- ・工事目的物に要求される機能を確保し、再生資源の利用に努めること。また再資源化施設の活用を図ることにより、再生資源の利用を促進すること。
- ・再生資源の利用促進への取り組み方針、再生資材により設計されている工事材料の選定、施工等、及び、工事に使用する再生資材の選定、施工等について施工計画に定めること。

(5) 再生資源利用等実施書の提出

- ・施工計画書提出時に、「再生資源利用計画書」・「再生資源利用促進計画書」を作成し提出すること。
- ・しゅん工時に、「再生資源利用実施書」・「再生資源利用促進実施書」を作成し提出すること。
- ・作成は指定されたシステムにより行い、実施書は電子データ納品すること。
- ・対象は量の多少にかかわらず、建設副産物が発生する工事の全てとすること。

(6) 処分量の確認

- 建設副産物の処分量を確認するため、監督員から請求書、伝票等の提示を求められた場合は応じなければならない。

(7) 建設発生土の処理に関する事項

- 本工事において生じる建設発生土の処分は、下記の条件を想定して処分費・運搬費を計上している。

処理場名	受入地	特記事項
大同建設	諏訪市四賀霧ヶ峰7678	普通土 石混入30cmまで

- 処分場については、原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。当処理場は碎石法の許可等の手続きを完了した搬出先である。公告時点は上記のとおりだが、契約後に搬出先を変更する場合は、変更後の搬出先における盛土規制法の許可等で必要となる手続きを改めて確認する必要がある。
- 施工計画提出時に必要な書類等
処理先の許可書の写し及び収集運搬業者の許可書の写し（収集運搬を委託する場合）
受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し（施工体制台帳に添付する）
処理業者の所在地及び計画運搬ルート
- 処分量については、写真や伝票等により適切に管理すること。

10 品質・技術管理関係

(1) コリنزへの登録

- 請負代金額 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS・一般財団法人日本建設情報総合センター）を活用し、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けた後、直ちに登録を行い、発行された「登録内容確認書」の「写」を監督員に下記により提出すること。
- 受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内とする。
- 完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内とする。
- 登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内とする。
- 訂正時は適宜登録をする。
- 上記以外は共通仕様書 1-1-1-7 を参照

(2) セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良

- セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良する場合は、六価クロム溶出試験を行いその結果について監督員に報告する。
- 六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。
実施要領（案） <https://www.mlit.go.jp/tec/kankyoku/kuromu.html>

(3) 検査及び洗管工

- 水圧試験は事前に日時を調整し、検査員及び監督員立会いのもと実施すること。原則は水圧による検査とするが、監督員と協議の上、空気圧による検査とすることができる。

- ・水圧試験の方法は共通仕様書に準ずるものとし、管内に水を充填した後、**1.0MPa**（ポリエチレン管 **0.75MPa**）まで加圧し、**10 分間減圧**がないか確認を行う。
また、監督員と協議の上、空気圧試験とする場合は **0.3MPa**（ポリエチレン管については **0.25MPa**）まで加圧し、**10 分間減圧**がないか確認を行う。
- ・洗管は監督員の立ち会いのもと実施すること。原則として埋設管と同口径での洗管を行うこと。また、同口径での洗管が困難な場合のみ監督員と協議の上、変更することができる。洗管は排水から異物や色が完全になくなったことを確認した上で、監督員の承認をもって完了とする。

1 1 その他

（1）構造改善

- ・建設現場における福祉の改善や労働時間の短縮、又は建設産業への理解を深める事業の実施などの構造改善対策にも配慮すること。

（2）暴力団等（暴力団、暴力団関係企業など、不当介入を行うすべての者をいう。）からの不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除

- ①暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告し、所轄の警察署に届けること。
- ②暴力団等からの不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告し、被害届を速やかに所轄警察署に提出すること。
- ③不当介入を排除するため、発注者及び所轄警察署と協力すること。
- ④不当介入により工期の延長が生じる場合は、約款の規定により発注者に工期延長等の要請を行うこと。

（3）不正軽油撲滅対策

軽油を燃料とする車両及び建設機械等には、ガソリンスタンド等で販売されている適正な軽油を使用すること。

（4）法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、保険契約の証券又はこれに代わるものを監督員に提示することとする。